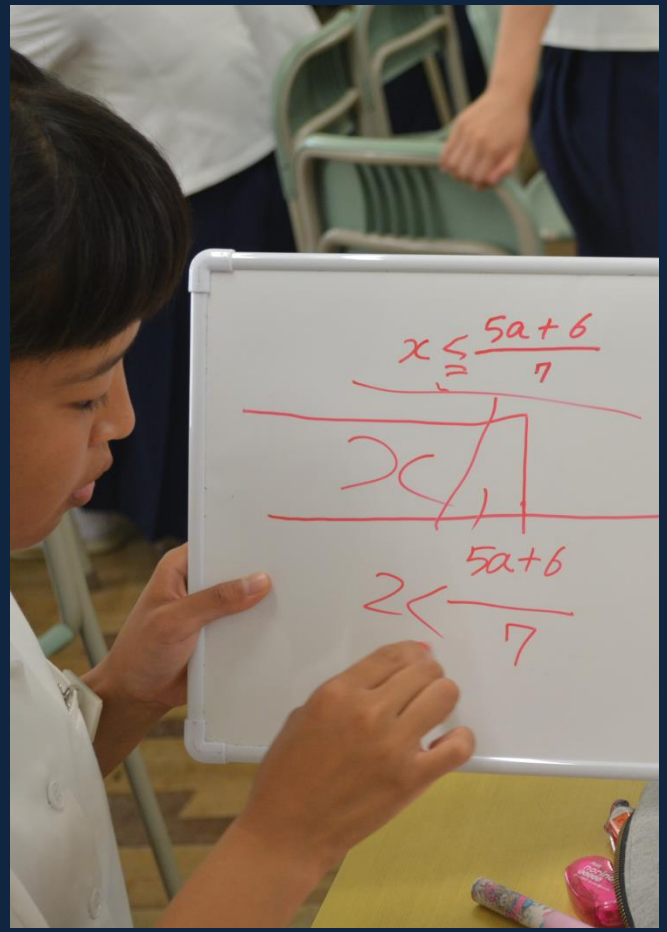
平成29年度　福岡県立学校「新たな学びプロジェクト」

論理的に説明する力を育む授業改善の研究

ーグループワークやディスカッションを取り入れた授業を通してー



福岡県立北筑高等学校

福岡県立北筑高等学校

- 昭和53年開校（今年度、創立40周年）
- 「厳しい学校」として地域に定着
- 学校教育目標
  「現代に生きる逞しい人間の育成」

グループワーク１

現代に生きるために必要な

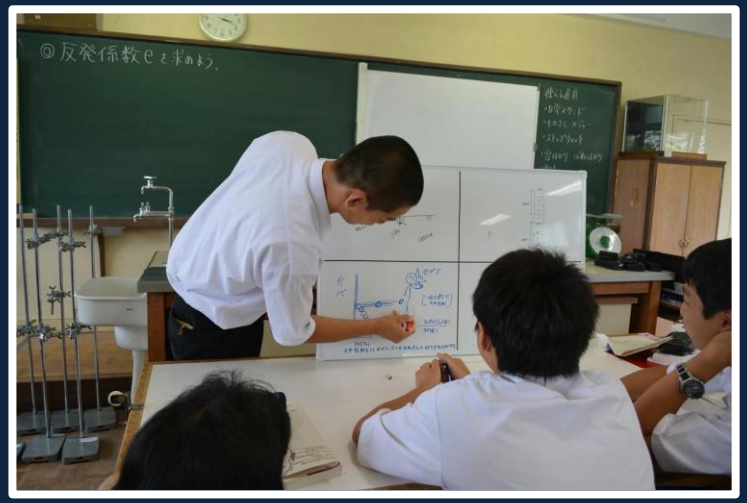
逞しさ（資質・能力）とは？

（動画「北筑　４０年の歩み」）

論理的に説明する力

↑

グループワーク
ディスカッション



北筑高校「新たな学びプロジェクト」３年間の取組

１　AL型授業

２　評価方法

３　業務の改善

４　学習環境の整備

1　AL型授業

（1）1，2年目は、数学、理科で実施

（2）3年目は、全教科で実施

7月 … 数学、理科、保健体育、芸術

10月 … 国語、地歴公民、英語、家庭

相互協力の意識を高める理科学習指導
―教えない授業を通して―

福岡県立北筑高等学校
理科　小林　越親

「教えない授業」とは

- 都立両国高等学校にて実践
- 「大人がいなくても学び続ける子」を育てる
- 「知識を解りやすく教える」から「問題解決の方法を支援する」へ
- 「教えない」ことで子どもたちに自立を促していく
- 教師は授業の時間の全てを生徒に任せる

目標達成に向け協力し、能動的に議論する力、相手に応じて適切に説明する力を伸ばし、相互に相手のことを考えたコミュニケーション能力が高まる

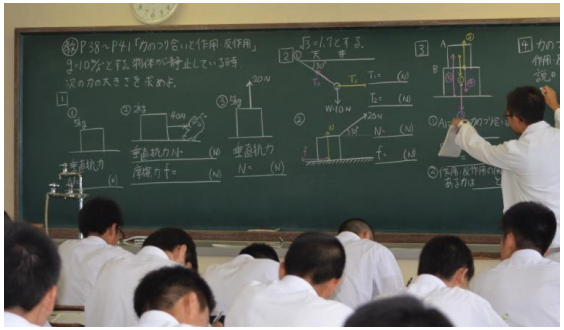
対象クラスと実施期間

- 対象クラス
  一年生４クラス160名
- 実施教科
  「物理基礎」（2単位）
- 使用教材
  教科書、学習ノート

- 実施期間
  平成29年４月８日～平成２９年７月１９日
  （ 入学後 ～ １学期終了 まで **１学期間全て**）

実践手順（ほぼ毎回の内容）

① 課題（問題）を黒板に板書する



② 「**全員が理解する**」こと
「**助け合う**」こと
「**わからないことは聞く**」こと
「**議論の時は相手を尊重する**」ことを伝える

③ 生徒に自由に活動させる

④ 教え合いを促しながら解答をチェックする

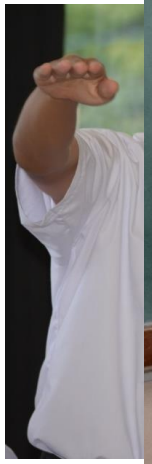
⑤ 最後の５分程度で解説と振り返りを行なう

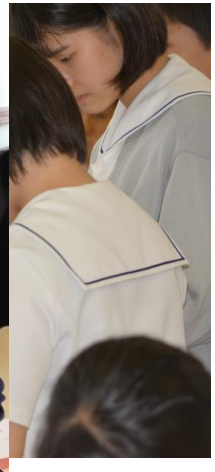
実施にあたっての約束①

- 全員の理解を目標とする
- 理解した生徒は他の生徒を助ける
- 「答え」を教えたり聞くのではなく「考え方」を議論する
- 質問は教える側の理解を助けることになるので、わからないことは積極的に質問する
- 議論の際、お互いの意見を尊重しあう
- 授業中に全て理解するつもりで臨む

実施にあたっての約束②

- 生徒は授業
- 教室にある
  ※電子辞書で
  黒板を使っ

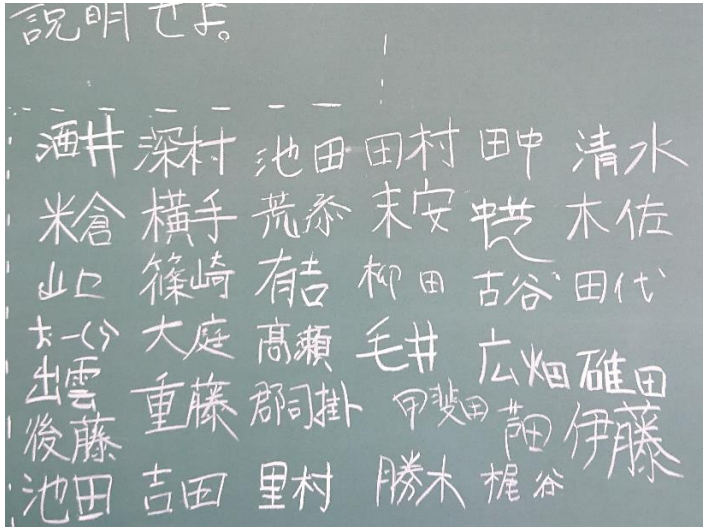


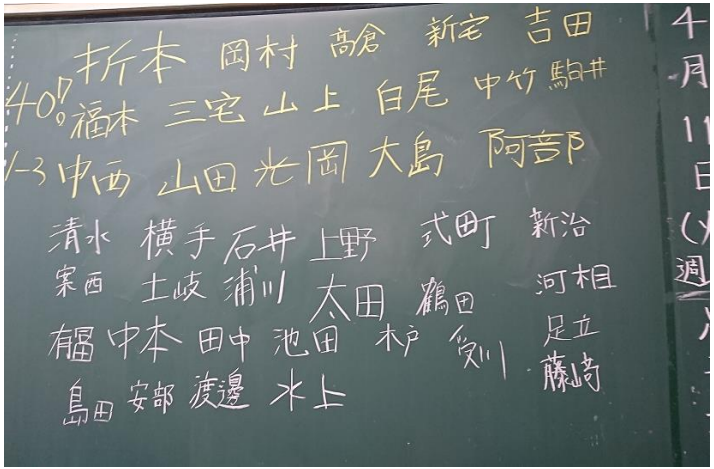


実施にあたっての約束③

- 課題を全て終えた生徒は**黒板に名前をかく**

  ※誰に聞けばよいのか解りやすくするため



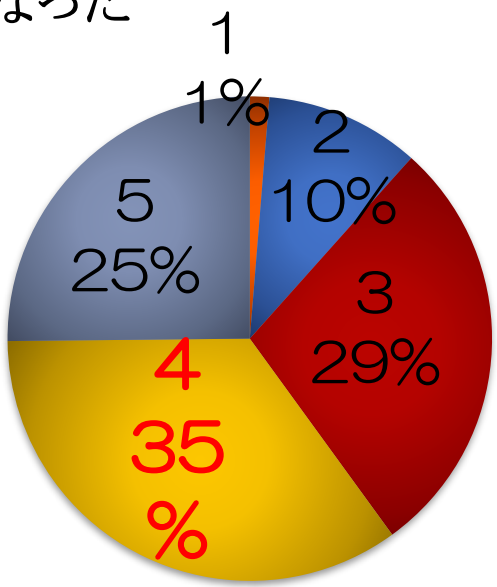


指導上の注意点

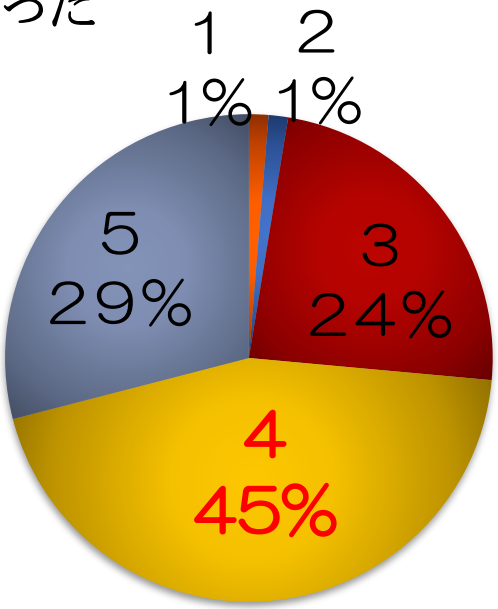
- スモールステップで課題を用意する
- 公式の導出なども課題の中に組込み、解説時に公式の導出であったことを伝える
- 課題に取組む中で考え方が身に付くよう工夫する
- 生徒同士の議論が十分に行なわれるように、
  クラスで物理が得意な生徒が１５～２０分程度で終わる難易度に設定する
- 課題達成時は生徒を褒め、終わっていない生徒を助けるように促す

結果（生徒アンケート5段階評価）①

わからないこと、納得のいかないことを積極的に聞くようになった



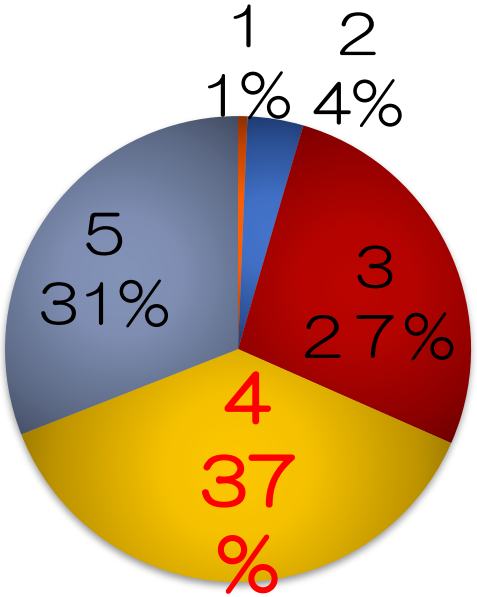
議論をするとき、相手の考えもちゃんと聞くようになった



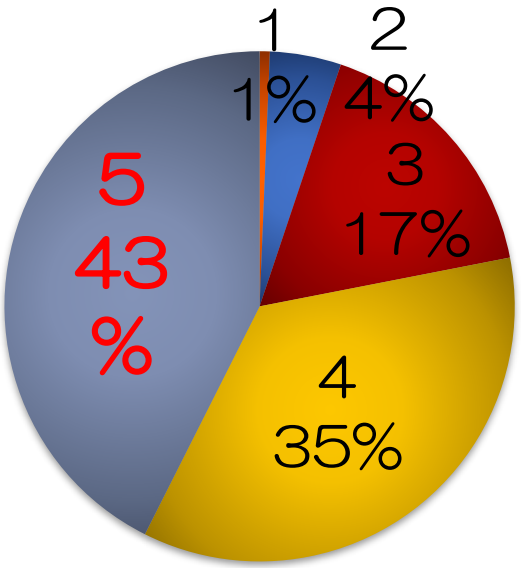
相互に尊重して議論をする傾向になっている

結果（生徒アンケート5段階評価）②

相手にわかりやすいように伝える努力をするようになった



友達に教えたり議論するほうが、理解が深まると思う



コミュニケーションを取ることに前向きになっている

結果（生徒アンケート5段階評価）③

	黒板に名前を書くのは楽しい					50分間全部を講義にしてほしい				
点　　数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
回 答 数	16	21	47	38	33	47	45	38	14	10
割　　合	10.3%	13.5%	**30.3%**	24.5%	21.3%	**30.5%**	29.2%	24.7%	9.1%	6.5%
平 均 値	***3.33***					***2.32***				

	解説は無くてもよい					物理基礎の授業に満足している				
点　　数	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
回 答 数	88	44	11	8	4	1	7	25	49	69
割　　合	**56.8%**	28.4%	7.1%	5.2%	2.6%	0.7%	4.6%	16.6%	32.5%	**45.7%**
平 均 値	***1.68***					***4.18***				

教員による解説があった方が安心するものの、
概ね満足していると言える

アンケート記述より一部抜粋

生徒感想

- このままの授業形態で良い（３７名）
- 授業が楽しい（１３名）
- 友達と教えあうと理解が深まる、質問をたくさんできる（１０名）
- 自分で解けると達成感がある（２名）
- 議論の時間がもっと欲しい（１名）
- 物理の時間が身になるものになった（１名）

改善要望

- 解説時間を今より長くしてほしい（２６名）
- 解説を今より丁寧にして欲しい（３名）
- 黒板に名前を書くのはプレッシャーに感じる（２名）
- 議論は良いが教室がうるさくなることがある（１名）

今後の展望と課題

（１）より適切な課題の設定

①より議論を促せる課題の模索

②クラス全体が満遍なく活動できる難易度の模索

③講義と議論の配分調整

（２）授業規律の確立

①議論する時間以外の授業規律の徹底

②より生産的で活発な議論を促す雰囲気づくり

③生徒自身が授業規律を作っていく雰囲気づくり

（動画「研究授業（物理）」）

２　評価方法

（１）２年目
「北筑高校版ルーブリック」を作成

（２）３年目以降
① 学校行事アンケートの実施
② 各教科ごとのルーブリックを作成

「社会人基礎力」（経済産業省）より引用

社会人基礎力に基づく北筑高校版ルーブリック

3つの能力	12の能力要素	A（十分に発揮できた）	B（発揮できた）	C（発揮できなかった）
前に踏み出す力 **（アクション）** 一歩前に踏み出し失敗しても粘り強く取り組む力	主体性 物事に進んで取り組む力	自分のすべきことを自分で見いだし、自ら考えて取り組むことができる。	自分のすべきことに、自ら進んで取り組むことができる。	自分のすべきことに、取り組もうとしない。
	働きかけ力 他人に働きかけ巻き込む力	相手が納得できる説明をし、意欲を引き出したうえで、相手を自ら進んで取り組ませることができる。	相手が納得できるよう熱意をもって説明する。または、協力することの必要性を伝えることができる。	相手に働きかけることができない。または、働きかけようとしない。
	実行力 目標を設定し、確実に実行する力	自分で決めた目標の達成に、周囲と協力して取り組み、達成することができる。	与えられた目標の達成に、自分の力で取り組み、達成しようとする。	目標が達成できない。または、目標の達成に取り組もうとしない。
考え抜く力 **（シンキング）** 疑問を持ち考え抜く力	課題発見力 現状を分析し目標や課題を明らかにする力	現状を把握して、積極的に情報収集や分析を行い、課題を明らかにできる。	現状を把握して、課題を明らかにしようとする。	現状を把握できない。または、課題を明らかにしようとしない。
	計画力 課題の発見に向けたプロセスを明らかにし準備する力	課題の発見に向けたプロセスを計画し、状況に応じて修正しながら実行できる。	課題の発見に向けたプロセスを計画し、実行しようとする。	課題の発見に向けたプロセスを計画できない。または、計画しようとしない。
	創造力 新しい価値を生み出す力	様々な視点から物事を考えたり、新しい知識や考え方を取り入れたりして、新しいものを作り出すことができる。	自分の視点で物事を考えたり、資料などを用いて調べたりして、新しいものを作り出そうとする。	物事を考えようとしない。または、新しいものを作り出そうとしない。
チームで働く力 **（チームワーク）** 多様な人々とともに目標に向けて協力する力	発信力 自分の意見をわかりやすく伝える力	自分の考えを、例を用いたり理由を説明したりしながら、相手の立場に立って伝えることができる。	自分の考えを、自分なりに整理しており、相手に伝えることができる。	自分の考えを整理できていない。または、自分の考えを相手に伝えようとしない。
	傾聴力 相手の意見を丁寧に聴く力	人の意見を、相づちを打ったり、共感したりしながら聴き、しっかりと理解することができる。	人の意見を聴いて、理解することができる。または、理解しようとする。	人の意見を聴くことができない。または、人の意見を聴こうとしない。
	柔軟性 意見の違いや立場の違いを理解する力	自分の意見をもちながら、相手の意見のよさを見いだし、自分と異なる意見も受け入れることができる。	自分の意見をもちながら、相手の意見にも理解を示すことができる。	相手の意見を理解できない。または、理解しようとしない。
	状況把握力 自分と周囲の人々や物事との関連性を理解する力	自分にできること、他人ができることを的確に判断し、チームで成果を挙げる状況を作り出すことができる。	自分にできること、他人ができることを理解し、周囲との関連に配慮して行動することができる。	自分や他人のできることを理解できない。または、理解しても周囲に配慮しながら行動できない。
	規律性 社会のルールや人との約束を守る力	ルールやマナーの必要性を理解できており、周囲にその必要性を訴えることができる。	ルールやマナーの必要性を理解できており、それを守ることができる。	ルールやマナーの必要性を理解できていない。または、それを守っていない。
	ストレスコントロール力 ストレスの発生源に対応する力	ストレスの原因と向き合い、前向きな気持ちでその対処法を見いだして、対応することができる。	ストレスの原因を見つけ、それを解消するために、いろいろな対処法に取り組むことができる。	ストレスの原因を見つけることができない。または、対処しようとしない。

教科の観点別評価規準 例

平成29年度　福岡県立北筑高等学校　観点別評価規準（１年数学Ⅰ　単位数３）例

	学習内容	レベル	知識・技能	レベル	思考力・判断力	表現力	主体的に学習に取り組む態度 （学びに向かう力・人間性）
１学期	第１章　数と式	3	工夫が必要な展開や因数分解ができる。 無理数や絶対値を含む、やや複雑な方程式・不等式の計算ができる。 １次不等式の応用問題ができる。	3	○現状を把握して、積極的に情報収集や分析を行い、課題を明らかにできる。 ○課題の発見に向けたプロセスを計画し、状況に応じて修正しながら実行できる。 ○様々な視点から物事を考えたり、新しい知識や考え方を取り入れたりして、新しいものを作り出すことができる。 ○自分の意見をもちながら、相手の意見のよさを見いだし、自分と異なる意見も受け入れることができる。 ○自分にできること、他人ができることを的確に判断し、チームで成果を挙げる状況を作り出すことができる。	○自分の考えを、例を用いたり理由を説明したりしながら、相手の立場に立って伝えることができる。 ○人の意見を、相づちを打ったり、共感したりしながら聴き、しっかりと理解することができる。	○自分のすべきことを自分で見いだし、自ら考えて取り組むことができる。 ○相手が納得できる説明をし、意欲を引き出したうえで、相手を自ら進んで取り組ませることができる。 ○自分で決めた目標の達成に、周囲と協力して取り組み、達成することができる。
		2	やや複雑な展開や因数分解ができる。 無理数や絶対値を含む数式の計算ができる。 連立１次不等式が計算できる。				
		1	基本的な展開や因数分解ができる。 無理数や絶対値の意味を理解している。 簡単な１次不等式の計算ができる。				
	第２章　集合と命題	3	ド・モルガンの法則などを用いたやや複雑な計算ができる。 必要条件や十分条件の意味を理解し、問題を解くことができる。 対偶や背理法を利用した証明ができる。				
		2	集合の共通部分や和集合、補集合などを用いた計算ができる。 命題の真偽を調べることができる。 命題の逆・裏・対偶を求めて、真偽を調べることができる。	2	○現状を把握して、課題を明らかにしようとする。 ○課題の発見に向けたプロセスを計画し、実行しようとする。 ○自分の視点で物事を考えたり、資料などを用いて調べたりして、新しいものを作り出そうとする。 ○自分の意見をもちながら、相手の意見にも理解を示すことができる。 ○自分にできること、他人ができることを理解し、周囲との関連に配慮して行動することができる。	○自分の考えを、自分なりに整理しており、相手に伝えることができる。 ○人の意見を聴いて、理解することができる。または、理解しようとする。	○自分のすべきことに、自ら進んで取り組むことができる。 ○相手が納得できるよう熱意をもって説明する。または、協力することの必要性を伝えることができる。 ○与えられた目標の達成に、自分の力で取り組み、達成しようとする。
		1	集合の表し方を理解し、部分集合を求めることができる。 命題や真偽の意味を理解している。				
２学期	第３章　２次関数	3	関数の最大値や最小値を場合分けを考えて求めることができる。 関数の最大・最小の考え方を事象の考察に活用できる。 ２次不等式を様々な応用問題の考察に活用できる。				
		2	関数のグラフを書き、その平行移動や対象移動を調べることができる。 定義域が与えられた関数の最大値や最小値を求めることができる。 判別式を用いて、実数解の個数に関する問題を解くことができる。 与えられた条件を用いて、２次関数を決定できる。 様々な２次不等式をグラフと関連付けて解くことができる。				
		1	関数を変形して頂点と軸の方程式を求めることができる。 ２次関数の頂点の座標と形から、最大値や最小値を求めることができる。 因数分解や解の公式を用いて、２次方程式を解くことができる。 簡単な２次不等式の問題を公式に当てはめて解くことができる。				
	第４章　図形と計量	3	単位円を用いた三角比の定義を理解し、種々の問題を図形的に考えることができる。 三角比の相互関係の公式を用いる問題を、図形的にも考えることができる。 正弦定理・余弦定理・三角形の面積の公式を、空間図形に活用できる。				
		2	単位円を用いた三角比の定義を理解し、三角比の値を求めることができる。 三角比の相互関係の公式を用いる問題を、図形的にも考えることができる。 正弦定理・余弦定理・三角形の面積の公式を、平面図形に活用できる。				
		1	直角三角形を用いた三角比の定義を理解し、三角比を求めることができる。 三角比の相互関係の公式を用いて、機械的に計算することができる。 正弦定理・余弦定理・三角形の面積の公式を用いて、機械的に計算することができる。	1	○現状を把握できない。または、課題を明らかにしようとしない。 ○課題の発見に向けたプロセスを計画できない。または、計画しようとしない。 ○物事を考えようとしない。または、新しいものを作り出そうとしない。 ○相手の意見を理解できない。または、理解しようとしない。 ○自分や他人のできることを理解できない。または、理解しても周囲に配慮しながら行動できない。	○自分の考えを整理できていない。または、自分の考えを相手に伝えようとしない。 ○人の意見を聴くことができない。または、人の意見を聴こうとしない。	○自分のすべきことに、取り組もうとしない。 ○相手に働きかけることができない。または、働きかけようとしない。 ○目標が達成できない。または、目標の達成に取り組もうとしない。
３学期	第５章　データの分析	3	四分位偏差や標準偏差から、データの散らばりを考えることができる。 データから相関係数を求め、相関関係を調べることができる。				
		2	データから四分位範囲や四分位偏差、箱ひげ図を求めることができる。 データから分散や標準偏差を求めることができる。 散布図から相関関係を調べることができる。				
		1	データを整理して、度数分布表やヒストグラムで表すことができる。 代表値や四分位数の定義を理解し、その値を求めることができる。 データから散布図を作ることができる。				

「思考・判断」「表現」「主体的に学習に取り組む態度」は、北筑高校版ルーブリックの文章を
そのまま引用しています。各教科の特性に合った内容に修正してください。

生徒による自己評価用ルーブリック例

English Expression 1 Rubric Sheet No.( ) Class Number Name

月日（曜日）
時限目

書く活動	1	主体性	課題に対して、進んで取り組むことができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	2	発信力	相手（読み手・聞き手）を意識して文章を考えることができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	3	状況把握力	ペア／グループで協力／分担することができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	4	課題発見力	学習した内容に基づいて自らの課題を発見することができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	5		Extra（今日独自の目標）	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
話す活動	6	主体性	課題に対して、進んで取り組むことができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	7	発信力	相手（読み手・聞き手）を意識して話すことができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	8	傾聴力	他者の意見を聞いて、その良い点を考えることができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	9	協調性	発表の手順に従い、マナーを守って活動に取り組むことができる	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C
	10		Extra（今日独自の目標）	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C	A B C

学校行事アンケート

北筑高等学校　学校行事アンケート（平成29年度　大運動会）

回答日：平成　　年　　月　　日（　　）

生徒の皆さんと先生方でつくる「学校行事」のあり方について、学校全体で考えるためのアンケートです。そのような観点で責任をもって記入してください。以下の質問の答えに該当する番号のマークを、鉛筆またはシャープペンシルで丁寧に塗りつぶしてください。（薄かったり、はみ出したりすると、機械が読み取らないことがあります）

A　行事での自分自身の取組、友達の様子、行事の内容、全体の様子などを思い浮かべて回答してください。

※　各設問の内容を確認し、1～5の全体を利用するつもりで回答してください。

		できなかった ⇔ できた 1	2	3	4	5
(1)	他からの指示を待つのではなく、ものごとに自ら考えて取り組むことができた。	○	○	○	○	○
(2)	目的の達成に向かって周囲へ呼びかけ、相手を自ら進んで取り組ませることができた。	○	○	○	○	○
(3)	自分で決めた目標の達成に周囲と協力して取り組み、達成することができた。	○	○	○	○	○
(4)	現状を把握して、問題点や疑問点、課題を見つけることができた。	○	○	○	○	○
(5)	課題の解決に向けた計画を立て、状況に応じて実行できた。	○	○	○	○	○
(6)	既存の発想にとらわれず、新しいアイデアを生み出すことができた。	○	○	○	○	○
(7)	自分の考えを、相手の立場に立って分かりやすく伝えることができた。	○	○	○	○	○
(8)	人の意見を丁寧に聴き、しっかりと理解することができた。	○	○	○	○	○
(9)	他との意見や立場の違いを理解し、状況に応じて対応することができた。	○	○	○	○	○
(10)	自分ができることや他人ができることを判断し、自分が果たすべき役割を理解することができた。	○	○	○	○	○
(11)	ルールやマナー、人との約束や締め切りなどを守ることができた。	○	○	○	○	○
(12)	困難な状況でも明るく前向きな気持ちで受け止め、ストレスを溜めずに対応できた。	○	○	○	○	○

B　その他、さらによい行事にするために改善したいことがあれば、記入してください。

1－2－3－4－5－6－7－8－9－0

学年　○○○

組　○○○○○○○

番号（十の位）　○○○○　　○

番号（一の位）　○○○○○○○○○○

年　　組　　番　氏名

・主要な学校行事で実施

・マークシート方式

・集約結果を分析し、来年度に向けた課題などを提案する

学校行事アンケート集計結果

平均点

自由記述

提言

平成29年度 大運動会　アンケート集計結果と分析

1　各質問ごとの平均点（5点満点）　※網掛けは全体平均を下回った値

			全体	1年平均	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	2年平均	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組	3年平均	1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組
前に踏み出す力（アクション）	(1) 主体性	他からの指示を待つのではなく、ものごとに自ら考えて取り組むことができた。	3.7	3.7	3.7	3.3	3.6	3.7	3.6	3.7	3.9	3.5	3.5	3.2	3.4	3.6	3.5	3.6	3.8	3.9	3.6	4	3.8	4	4.1	3.8	3.7
	(2) 働きかけ力	目的の達成に向かって周囲へ呼びかけ、相手を自ら進んで取り組ませることができた。	3.3	3.1	3.3	2.7	2.9	3.1	3.2	3	3.5	3.1	3.2	2.5	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2	3.6	3.3	3.8	3.6	3.9	3.9	3.3	3.4
	(3) 実行力	自分で決めた目標の達成に周囲と協力して取り組み、達成することができた。	3.8	3.8	3.8	3.2	3.6	3.9	3.7	3.8	4.4	3.6	3.6	3.4	3.4	3.8	3.6	3.6	4	4	3.7	4.1	3.9	4.2	4.4	3.9	3.9
考え抜く力（シンキング）	(4) 課題発見力	現状を把握して、問題点や疑問点、課題を見つけることができた。	3.6	3.6	3.7	3.5	3.3	3.6	3.5	3.6	3.9	3.4	3.4	3.1	3.4	3.5	3.6	3.2	3.7	3.7	3.4	3.7	3.9	3.9	4	3.7	3.7
	(5) 計画力	課題の解決に向けた計画を立て、状況に応じて実行できた。	3.4	3.3	3.5	3.1	3	3.5	3.1	3.2	3.8	3.2	3.3	2.7	3.2	3.3	3.3	3.3	3.6	3.5	3.2	3.6	3.6	3.8	3.7	3.6	3.4
	(6) 創造性	既存の発想にとらわれず、新しいアイデアを生み出すことができた。	3	2.9	2.9	2.9	2.8	3	2.7	2.8	3.3	2.9	3	2.2	2.8	3.2	3.1	3.1	2.9	3.2	2.9	3.1	3.5	3.6	3.3	3.2	3.2
チームで働く力（チームワーク）	(7) 発信力	自分の考えを、相手の立場に立って分かりやすく伝えることができた。	3.3	3.3	3.1	3.1	3.2	3.3	3.2	3.3	3.6	3.1	3.1	2.9	3	3.3	3.2	3.2	3.3	3.4	3.1	3.5	3.5	3.6	3.7	3.2	3.4
	(8) 傾聴力	人の意見を丁寧に聴き、しっかりと理解することができた。	3.9	3.9	4.1	3.7	3.8	4	3.9	4.1	4.1	3.8	3.8	3.9	4	3.8	3.8	3.4	4.1	4	3.8	4.2	4	4.1	4	4	3.9
	(9) 柔軟性	他との意見や立場の違いを理解し、状況に応じて対応することができた。	3.7	3.7	3.8	3.4	3.7	3.8	3.6	3.7	4	3.5	3.5	3.5	3.4	3.6	3.6	3.3	3.7	3.8	3.4	3.9	3.8	4	4.2	3.7	3.7
	(10) 状況把握力	自分ができることや他人ができることを判断し、自分が果たすべき役割を理解することができた。	3.8	3.8	3.9	3.7	3.9	3.9	3.7	3.9	4	3.6	3.6	3.7	3.7	3.6	3.6	3.4	4	3.9	3.6	4	4	4.1	4.2	3.9	3.8
	(11) 規律性	ルールやマナー、人との約束や締め切りなどを守ることができた。	4	4.1	4.3	3.6	3.9	4.1	4.1	3.9	4.5	3.9	3.8	3.9	4.1	4	3.7	3.7	4.3	4.1	3.6	4.2	3.9	4.2	4.3	4.3	4.1
	(12) ストレスコントロール力	困難な状況でも明るく前向きな気持ちで受け止め、ストレスを溜めずに対応できた。	3.5	3.5	3.7	3	3.5	3.7	3.2	3.8	3.6	3.3	3.5	3.3	3.2	3.4	3.3	3.3	3.5	3.5	3.2	3.9	3.3	3.7	3.7	3.6	3.3
		全体平均	[illegible]	3.6	3.7	3.3	3.4	3.6	3.5	3.6	3.9	3.4	3.4	3.2	3.4	3.5	3.5	3.4	3.7	3.7	3.4	3.8	3.7	3.9	4	3.7	[illegible]
		竹陵祭	3.7	3.8	3.8	3.5	3.6	3.4	3.9	3.7	4.4	3.8	3.7	3.5	3.7	3.9	3.7	4	4.1	3.7	3.6	3.9	3.5	3.9	3.9	3.8	3.5

2　自由記述（その他、さらによい行事にするために改善したいこと、など）　※「①②…」は回答した生徒のクラス番号

1年

・人ひとりが積極性をもって取り組むこと①
・日傘禁止にして欲しいと、親が言っていた。①
・チアの人数を増やす。①
・BGMが小さい。①
・部活動行進の後がバタバタで込み合っていたので、ゆとりが欲しい。①
・解散の号令がいかって、グラウンドを走って移動する意味が正直よく分からない。②
・部活動リレーがあればよいと思う。②⑦
・徒手体操にもっと新しい要素が欲しい。④
・見に来て下さった方々も参加できるようなものを取り入れたら良いと思う。④
・聞く姿勢を全員でつくること⑤
・グラウンドに出てくるとき、全学年を一斉に出さないほうがいいと思います。⑤
・借り物競争を取り入れて欲しい。⑥
・おけ（氷水の？）を増やして欲しい。⑥
・もう少し面白い企画を入れて欲しい。楽しい盛り上がりも欲しいです。⑦
・もっとクラス内で話し合ったりして、協力することが大切だと思います。⑦
・同級生でも注意したら言うことをきいて欲しいです。⑦
・もう少し実行委員を増やせばよいと思った。⑦
・競技を見る態度の点数をなしにして欲しい。自由に応援したり、多少はしゃいでもいいと思う。⑦
・応援コンクールが個人的にすごくすごく楽しかったので、もっと力をいれてほしい！⑦
・審判をしっかりしてほしい。⑦

2年

・実行委員と他の生徒や、学年間での意見交換などができる機会を設けてもいいのでは。①
・座ったり立ったりする回数をもっと減らせると思う。（無駄な体力の消費）①
・行進に関して、もっと最初から実行委員が声を上げて行進させるべきだった。①
・実行委員から生徒への意見は伝わるが、逆はなかなか伝わらないので改善して欲しい。①⑦
・授業で創作ダンスをしているので、ワンズより「よさこい」のような活気あるものを行うべきでは。①
・ワンズをなくすか、1，2年生だけで行うようにして欲しい。①
・パネルは最初から設置されているので、早く審査して欲しい。近くで見て審査して欲しい。②⑤
・無駄な行動をやめる。②
・集合時間に間に合っているのに、走らせなくていいと思う。③④⑥
・PTA競技と結足リレーは他の競技に変えたほうがいいと思う。③
・昇降口が混雑するから、学年ごとに出る時間をずらしたほうがいいと思う。③
・部活動リレーをやってみたい。③⑦
・女子も組体操がしたい。③
・やってみたい競技を生徒にアンケートし実行することで、全員が運動会に関われると思う。③
・もっと涼しい季節にやりたいです。③
・女子もワンズでないものがしたいです。③
・ワンズ体操の円のアイデアは良いと思ったが、もっと効率のいい方法があるのでは。④
・初歩的なことは最初に決めたり、解決したりする。⑤
・運動会期間は宿題をなくして欲しい。（睡眠時間の確保）⑤
・実行委員はやる気よりも実力をとるべき。⑤

・徒手体の難易度が低い。⑤
・教室待機の時間に廊下に出ている人がいる。指示する人もあいまいな指示をやめてほしい。⑤
・パネルに点数をつけるべきではない。⑤
・運動部紹介を部活動紹介に戻して、文化部も入れてください。⑤
・暑いので、運動会当日は帽子をかぶりたいと思った。⑤
・グラウンド内は走らないといけないから、グラウンド前の移動は走らせないでほしい。⑥
・グラウンドに出るときは、違いブロックから出させる。⑥
・学年関係なく、公平性を大切にする。（日陰に3年生だけ入っていたので）⑥
・実行委員とブロック幹部はもっと意思疎通をするべきだった。より密に関わるようにする。⑥
・チアや団の人数をもう少し増やす。（他校は大人数で迫力があるから）⑥
・入場行進前の待機時間は必要なのか。⑥
・入場行進もプロムナードくらい頑張って欲しいです。⑥
・運動部行進の入場待機のとき、袴がきついので、立った状態で待機したいです。⑦
・ほふく前進リレーはどうか。⑦
・観客席をもっと広くして、テントの設置数を増やせないか。⑦
・休憩が多くて良かったです。⑦
・怪我をしないように注意する。⑦

3年

・生徒にアンケートをとる。②
・1回目の衣装検査に全員が参加しないと、再検査でまた不備が見つかり効率が悪い。②
・行進の歩く距離を倍にしたほうが良い。北筑生はもっと歩くべきだ。③
・教室から出す時間をぎりぎりで一度に走らせるよりも、学年ごとから時間を調節して欲しい。③⑤
・チア、団の人数を増やす。③④
・運動会の時期を早める。③
・演奏楽部も参加させてあげてください。③
・ルールの審査基準の提示。審査のとき、本部からでなく近くで見るようにしてほしいです。③
・吹奏楽部の大会への移動に協力してくださり、本当にありがとうございました。③
・竹陵祭[illegible]

・卒業生を呼んでアドバイスをもらう。④
・集団行動でもっと高いレベルを求める。④
・生徒が自らの判断で、すべき行動が取れるように。④
・応援コンクールの時間を短縮する。（6分くらい）④
・チアのポンポンを買って欲しい。ボロボロでした。④
・幹部の決め方の改善④
・入場門左（白ブロックの場所）の移動がきつい。④
・ブロックの単独クラスはかなりの負荷となる。メリットもあり、達成感もある。⑤
・他校の運動会を学ぶ機会を増やしたほうがよい。⑤

・男子のチアは受け入れるべき。⑤
・世間の目を気にしない！⑤
・新しい競技が盛り上がりに欠ける。⑥
・ブロック練習の後などのポンポン、ペットボトルのゴミや水筒などの忘れ物が多かったです。⑥
・座らせたままの時間が長すぎて、もうちょっとまとめて実行すべきであると思った。⑥
・集合時間や朝練の時に、種目の練習ができる日程をもう少し早く全員に知らせてほしい。⑦
・ホースを買い換えたほうがよい。（穴だらけで水漏れ。テープで補強も改善されず）⑦
・男子の幹部は大ロールなどあっていいが、女子の幹部は何もないので不平等と思います。⑦
・ワンズの1，2年練習のときに先に音楽をかけて練習するこいいと思った。⑦

分析結果と来年度に向けた提言

・網掛けの部分が竹陵祭とほぼ同じであった。また、全体の平均点は竹陵祭より若干低い。1，2年生の平均点は特に低くなっている。
・網掛けの部分と自由記述から、目標設定や課題解決、そしてそれに伴う生徒間のコミュニケーションの機会の不足が、平均点を下げていると推測される。
・実行委員とブロック幹部以外の生徒の自己評価が相対的に低いので、そのような生徒が自己有用感や自尊感情をもって参加できるような手立てを考えていきたい。
・自由記述では、練習や準備、運動会当日の内容に関することと、人間関係に関するものが主に挙げられている。有意義な意見も多数あるので、来年度に向けた改善に生かしていきたい。

３　業務の改善

学校の課題についてアイデアを集約し、
実際に取り組む内容を決定する。

（１）２年目
「行事の削減と業務の軽減」

（２）３年目
「生徒の主体性を育むための業務改善」

グループワーク２

生徒の主体性を育むための業務改善のアイデア

テーマ【生徒の主体性を育むための業務改善】

1　上記のテーマに関するアイデアを３つ考えて、Ⅰの３つの付箋に記入する。
2　Ⅰに対してアイデアを発展させたり、独自案を考えて付箋にアイデアを書いて、Ⅱ以降のＡＢＣ欄に貼る。
3　生み出したアイデアをマトリックス・シートに貼り、実際に取り組むものを選ぶ。

1人目→

2人目→

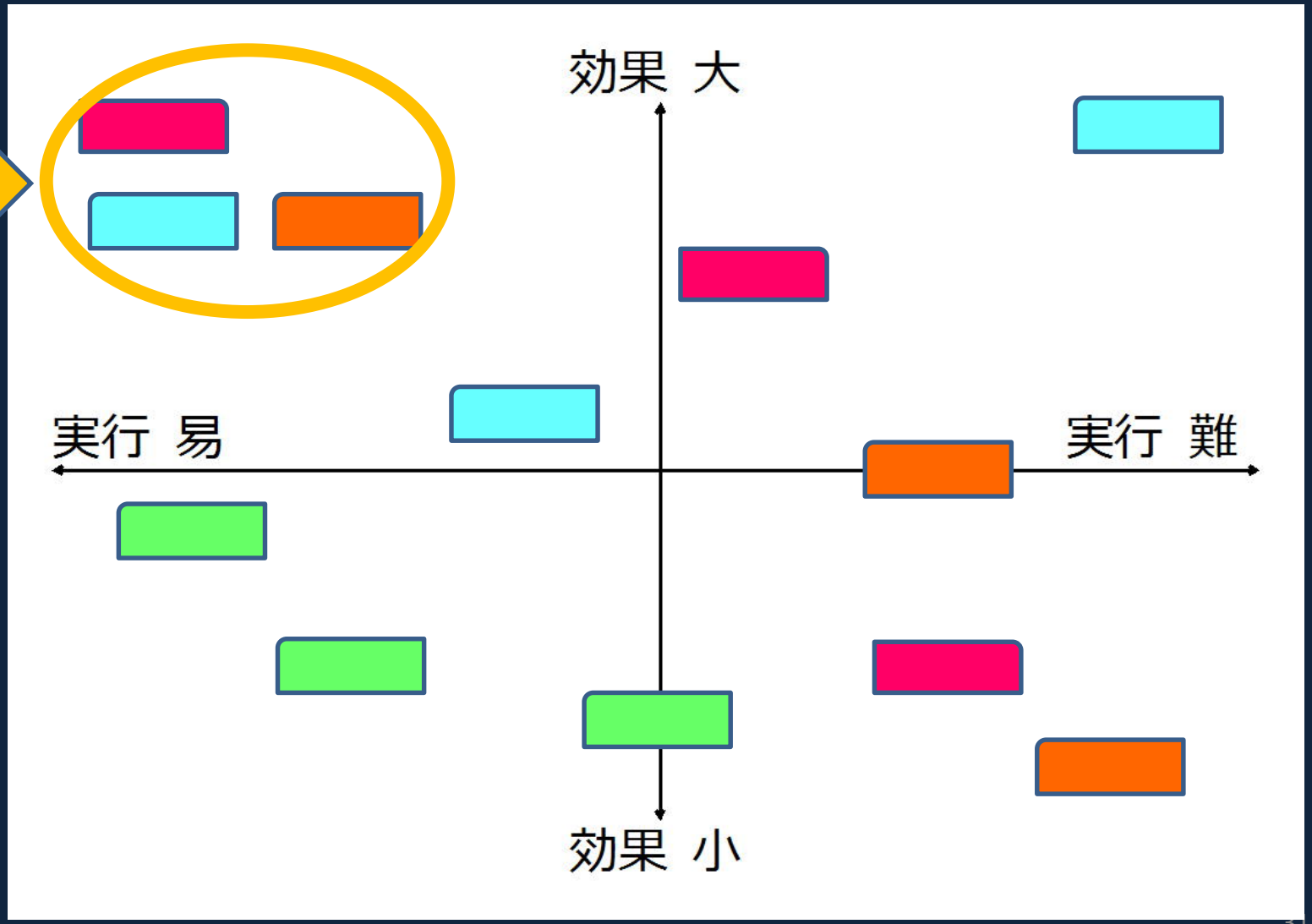
3人目→

4人目→

上のアイデアから連想するものを書く

	A	B	C
Ⅰ			
Ⅱ			
Ⅲ			
Ⅳ			
Ⅴ			
Ⅵ			

最も良いアイデア



「『生徒の主体性を育むための業務改善』の5W1H」に関する検討結果について

以下の内容を、今年度の2学期以降に取り組む各分掌、学年の目標とします。

		What（何を）	Why（なぜ）	Who（誰が）	When（いつ）	Where（どこで）	How（どうやって）	運営委員会検討結果
教務領域課	教育指導班	評価方法の改訂	評価方法と観点を生徒に明確に伝え、生徒が目標を設定して主体的に学習することや、授業への積極的な参加を促すため。	全職員	来年度から	職員会議、教科会議で	評点における観点別評価点の割合、及び評価方法を各教科で検討して頂き、年度初めの授業で生徒に提示する。評点の平均点の目標点を設定し、その範囲になるよう、考査問題を十分に検討してから実施する。	教育指導班から評価の方針を示し、2学期中に教科会議で決定
		考査前の放課後に行っている考査前学習会の禁止	生徒に自学する力を身に付けさせるため。	全職員	来年度から	ホームルームで	生徒に考査前の学習時間を記録させ、自学が行えているかを担任、副担任で確認しながら、考査の勉強を行わせる。	3学期に今年度を総括し、来年度の方針を決定
	図書・文化班	図書委員による図書館報の作成	委員会活動の活性化のため	図書委員および担当教員	図書館報作成の計画時	委員会	内容の案を出し、集約を行う。	2学期より実施
	庶務・渉外班	行事予定の手帳への記入	計画的な行動を取らせるため	庶務主任→担任に依頼	月行事予定表配布時	各教室	HRの時間に記入させる。	2学期より実施
	情報・広報班	電子黒板等ICT機器の利用	機器の整備の進行に伴う授業改善促進のため	情報機器担当者と研修部が協力し全教員に	9月28日の講習会以降随時	電子黒板設置教室及びICT機器使用場所	機器及びインストールソフト操作への研修を通じた理解深化と積極的な授業への活用方法を研究し、生徒が主体的に学べた事例を年度末に総括する。	2学期より実施
生徒指導領域課	生徒指導班	クラスマッチ運営を、生徒会主体から体育委員会主体にする。	生徒会業務軽減 各種委員会活性化	生徒会担当 体育科 体育委員長	後期クラスマッチ	本校	運営方針を体育委員会が生徒会より引継ぎ、体育委員長を中心とした体育委員会で、クラスマッチを運営する。	2学期より実施
	保健・安全班	整備委員会活性化 保健委員会の業務精選	委員会活動の活性化 業務負担の軽減のため	生徒会執行部及びその担当教員を中心に	生徒会定例会等	各種委員会の場 定例会等	話合い等による協議	2学期より実施
	特別支援教育班	個別の達成目標の設定	生徒個々に応じるため	関係職員を中心として	必要時	各種委員会等	個別の指導・支援計画等の作成	2学期より実施
進路指導領域課	キャリア教育班	コインベンダー式コピー機の設置	生徒の主体的な学習態度を育むため	学校	できるだけ早急に	進路資料室	事務室と協力しつつ導入	今年度中に導入予定
		放課後課外の選択制	一人ひとりの進路に応じた指導を行うため	3年生の教科担当者	平成30年度～	3年生	1学期…月火／全科目選択 2学期…月～金／理社必須　その他選択	今年度中に検討
	国際教育班	英語科の縦のつながり	・学校行事のノウハウを上級生が下級生に伝えるため ・資格試験の面接対策を生徒同士が行うなどの、システム作りのため	主任が日程を調整し、英語科の生徒が	・今年度は放課後の時間を用いて ・来年度は総学や授業時間に	飛翔館や体育館など、3学年が入ることができる場所	・実施内容については国際教育班及び英語科で検討 ・今年度は可能な限り英語科集会を開く。来年度は総学、授業（1時間のみ、3学年英語科が揃う時間を時間割作成でお願いしたい）を用いる。	2学期より実施
	人権教育班	な　し						
指導力向上領域課	研修班	評価やカリキュラムの改善	新学習指導要領（アクティブラーニング、カリキュラムマネジメント等）に対応するため	研修班の担当者が教務領域課、各教科主任と連携して	2学期～	教科主任会議、職員研修会等	・研修班と教育指導班が連携し方針を作成 ・方針を基に教科主任会議で検討 ・各教科の検討案を教務領域課で集約	教育指導班と連携して2学期より実施
		授業研修の充実	新学習指導要領（アクティブラーニング、カリキュラムマネジメント等）に対応するため	研修班の担当者と各教科主任を中心に	平成29年度に準備 平成30年度より実施	職員研修会や教科会議、研究授業などの場を通して	・各教科ごとのルーブリック作成 ・カリキュラム（教科間連携 等）の検討 ・学習指導の内容・方法の検討	教育指導班と連携して2学期より実施
		ICT活用に関する研修の充実	新学習指導要領（アクティブラーニング、カリキュラムマネジメント等）に対応するため	研修班の担当者を中心に、情報・広報班やICTを活用されている先生方と連携して	2学期～	職員研修会と別に、研修の機会を設ける	・先生方のニーズを調査 ・研修班が講師依頼・企画して実施 ・参加は希望制	情報・広報班と連携して2学期より実施
	学年班（1年）	クラス役員や生徒会生徒の活用	生徒が仕事を任されることで、帰属意識や自主性、責任感、達成感、やりがい等を感じることが期待されるため。	各クラス担任・教科担任・クラス役員	2学期～	1学年全体で、HR、授業の中で。	・クラスボックスの利用の徹底 ・学年集会を生徒が司会進行する。 ・行事やテストなどの到達目標を明確にして取り組みやすくする。	2学期より実施
		classiの活用	模試対策をして、模試に臨むことで、充実感と達成感を感じ、更なる学習意欲につながるから。	生徒各自	進研模試前	自宅で	模試対策問題に取り組む。	2学期より実施
	学年班（2年）	北筑手帳の活用	主体的な思考を身につけさせるため	学年教員・教科担当者	常時	昇降口連絡白板	必要な情報を記入し、生徒の手帳に記入させる。	2学期より実施
		修学旅行の生徒企画	主体的な思考を身につけさせるため	担任・副担任と実行委員	HR・総学・学年集会	教室など	早めに実行委員会を組織して準備する。	2学期より実施
	学年班（3年）	運動会でのリーダー活動	主体的な態度と発想を身につけさせるため	担任・副担任と実行委員・ブロックリーダー	準備期間（常時）	校内	早い段階からのリーダーの掘り起こし、他校の見学・交流会による意識改革、じっと見守る教師側の姿勢	2学期より実施
		放課後の自学時間延長	主体的な態度とそれを継続する力を身につけさせるため	生徒・担任・副担任	9月19日～11月17日	各HR・自習室	9月の勉強合宿での意識付けと、9月前半に自学自習への取り組みの効用を説く。	2学期より実施

４　学習環境の整備

（１）１、２年目
　ホワイトボードの活用

（２）３年目
　ALルーム、進路自習室の整備

ALルーム

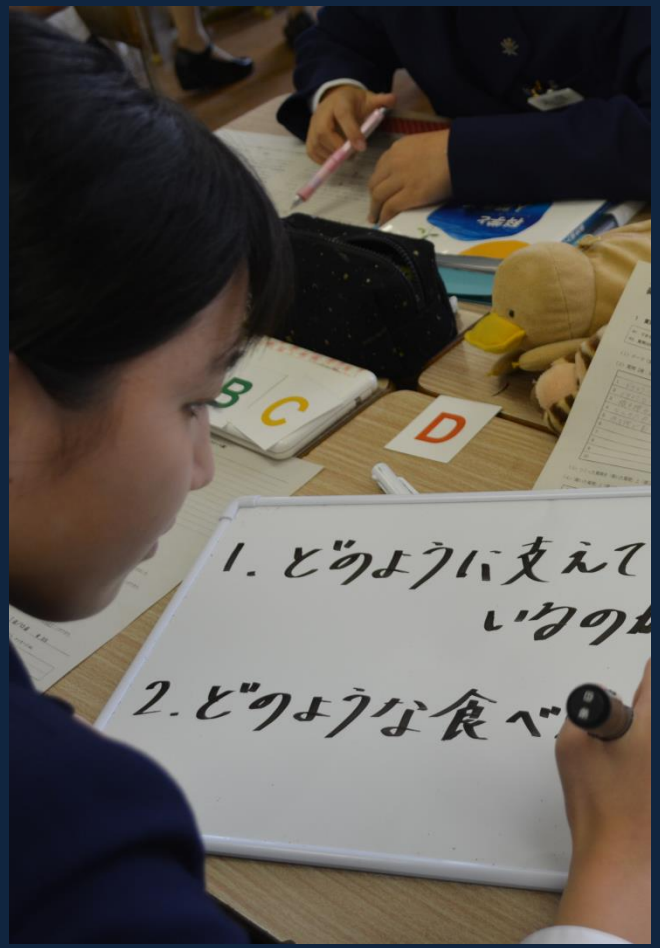
- テーブルや色違いのイス、ホワイトボード、プロジェクターなどを備えた教室。アクティブラーニングがしやすいように工夫している。

- 授業や放課後のグループ学習、生徒会活動などで活用されている。

進路自習室

- コンパートメントデスクや英語リスニング用の机、各種教材をそろえた自習用の教室
- グループで活動を行いたいときはALルーム、１人で学習等を行いたいときは進路自習室、というように用途に応じて活用

アドバイザー 指導・助言
（福岡教育大　松尾　剛 先生）



論理的に説明する力を育む授業改善の研究

ーグループワークやディスカッションを取り入れた授業を通してー

ご参加ありがとうございました。

福岡県立北筑高等学校